

富山市都市マスタープラン(素案)の 概要について

八尾地域、婦中地域、山田地域

- ・都市計画法第18条の2に基づき定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、概ね20年を見据え、本市の都市づくりの方針を示すもの
- ・上位計画である富山市総合計画と都市計画区域マスタープラン(県)に即したもの

<対象区域>

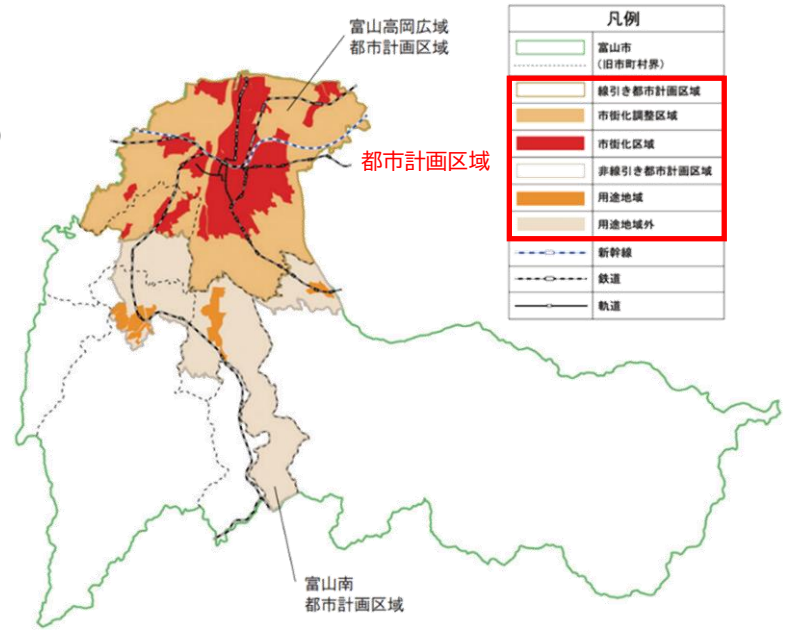
市全域

(都市計画区域を重点的に扱う)

<目標年次>

概ね20年後

2045(令和27)年



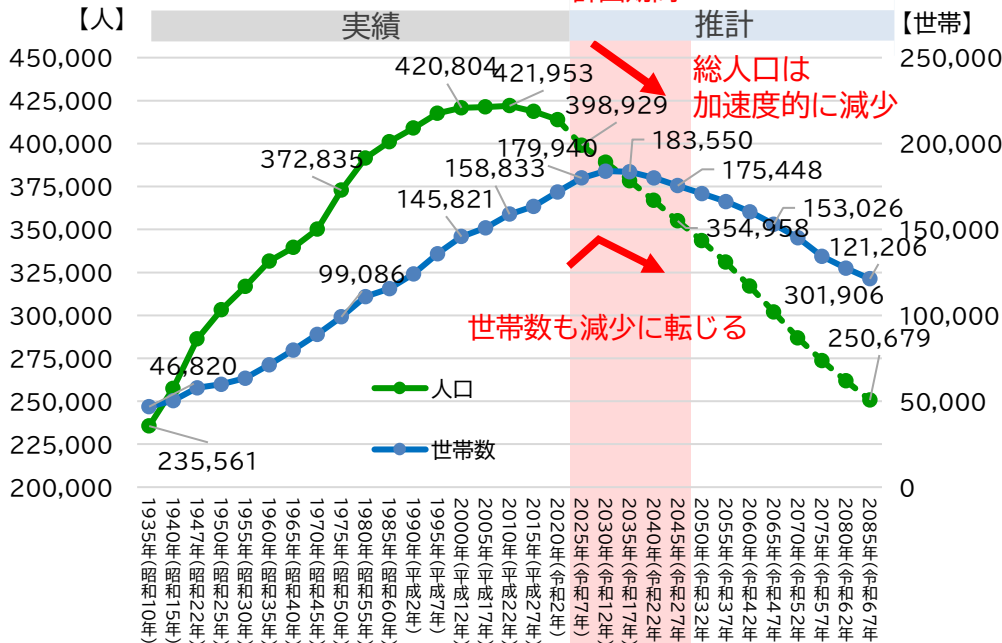
第Ⅰ編 全体構想

現状の課題認識

- ・「コンパクトなまちづくり」により、市街地の外延化が抑制され、人口の低密度化に一定の歯止めがかかった持続可能な魅力ある“まち”への転換が進んでいます。
- ・しかし、今後、加速度的な人口減少と世帯減少への転換は、空き家・空き地の増加を促すなど、市街地に様々な影響を及ぼし、“まち”の問題は、より複雑化・深刻化することが懸念されるため、「市街地の人口密度低下」と「都市管理コストの上昇」を抑制させながら、既成の市街地や資源を活用して魅力が高まるまちづくりに取り組む必要があります。

<人口と世帯数の実績と将来推計>

計画期間



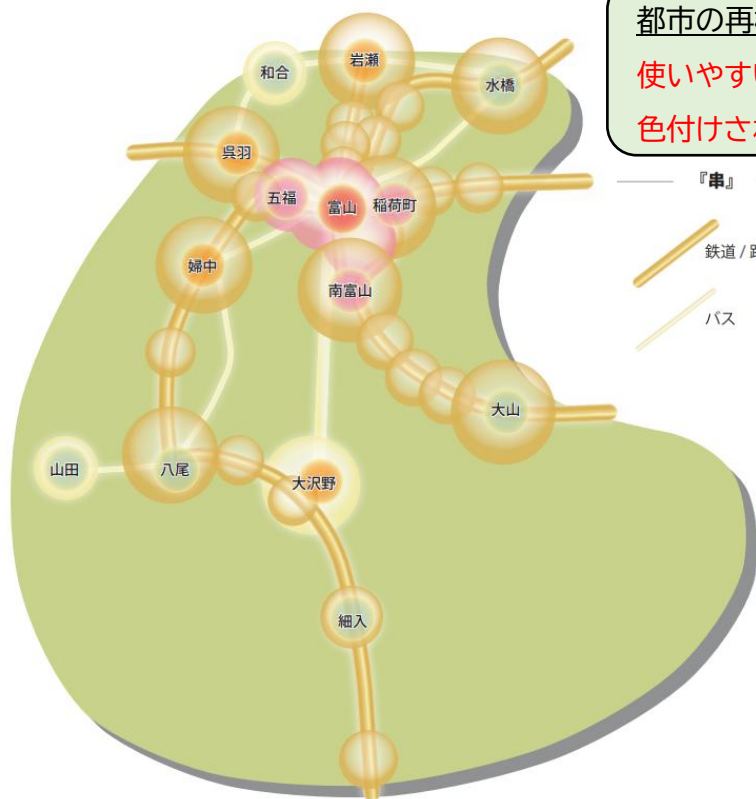
<課題認識>

- ①公共交通の持続性が低下し、極めて生活しづらい“まち”への転換
- ②“まばら”な市街地と“まち”の老朽化による生活環境の悪化
- ③拠点性の低下による都市全体の活力と魅力の喪失
- ④社会情勢の変化等による都市環境の変化

出典:実績(1935年～2020年)は国勢調査

推計は令和6年度富山市将来人口推計報告書(2025年～2070年)及び独自推計(2075年以降)

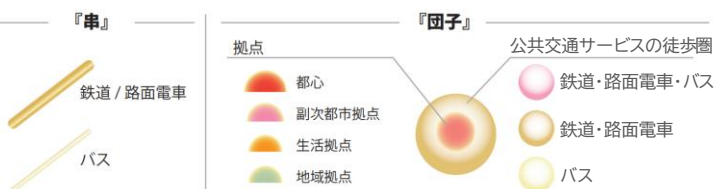
公共交通の活性化と、その沿線に居住や都市機能の集約を図るコンパクトなまちづくりを継続し、地域の資源を活かして魅力を最大化する拠点形成や既成市街地の利活用により、『公共交通を軸とした都市の再構築による拠点集中型のコンパクトなまちづくり』の実現を市民とともに目指す



都市の再構築により目指すお団子と串の都市構造

使いやすい「串」: 利便性の高い公共交通

色付けされた「お団子」: 串で結ばれた特色ある徒歩圏

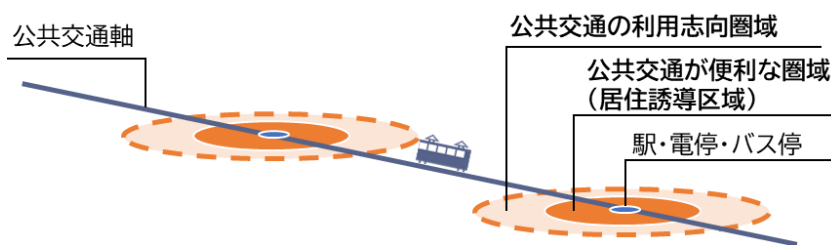


『都市の再構築』

既成市街地の「土地や建物」、「公共交通や道路・公園などインフラ」、「既存の都市機能や地域資源、自然環境」などの都市アセット(資産)を最大限に活かし、都市に新たな価値を付加する取組み。

- ① まちづくりの基軸となり多面的な価値をもたらす「公共交通の活性化」
- ② 市民が公共交通利用を意識した居住地選択ができる「公共交通志向型居住の推進」
- ③ 地域の個性を活かして魅力を最大化する「中心市街地をはじめとした拠点の形成」
- ④ 人口減少下における道路・土地・建物等の総合的な「都市マネジメントの推進」

< 公共交通志向型居住の推進のためのエリア設定 >



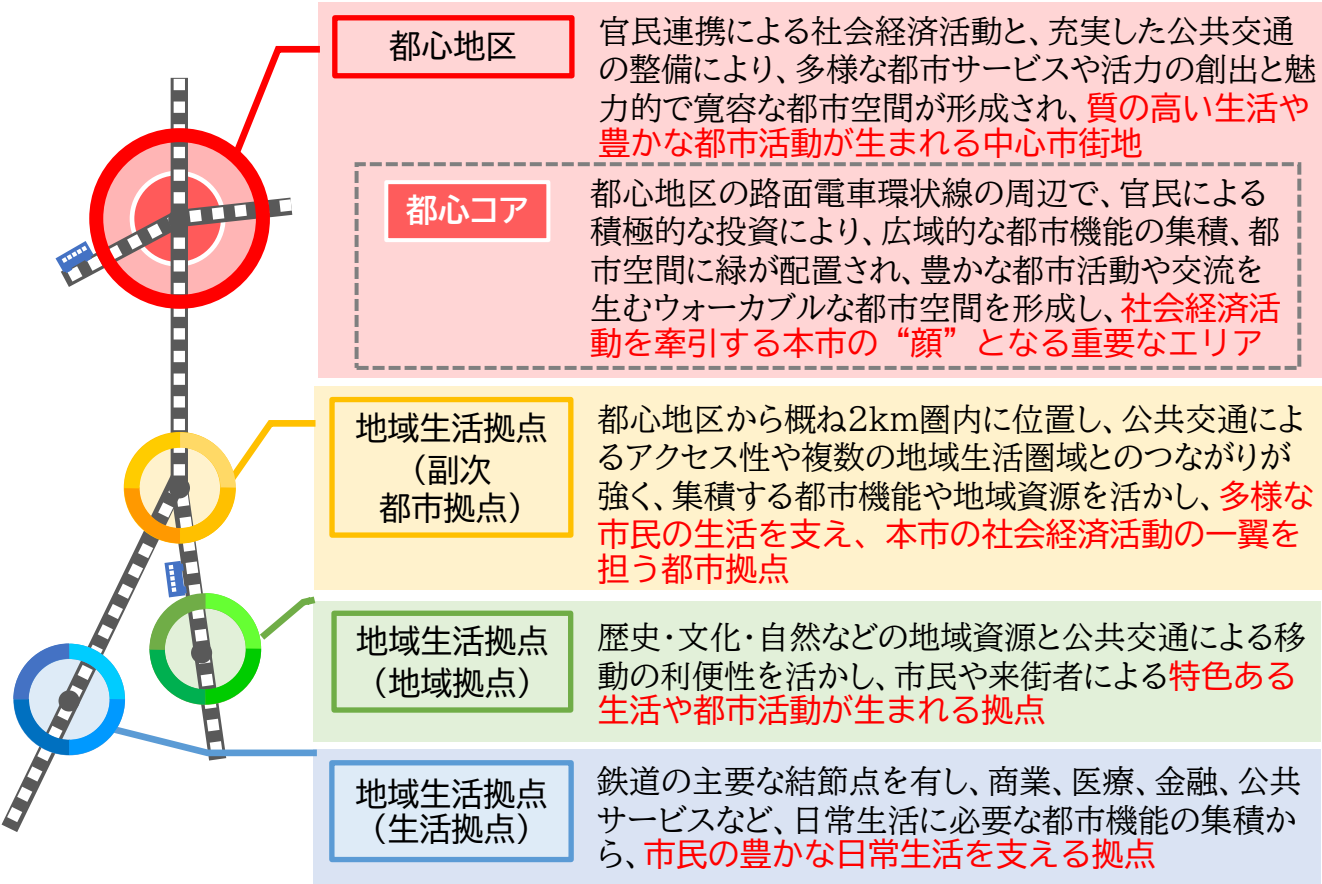
【公共交通の利用志向圏域】

公共交通軸の鉄軌道駅から概ね750m、バス停から概ね600mの範囲で、公共交通利用を意識した市民生活の醸成を図る圏域

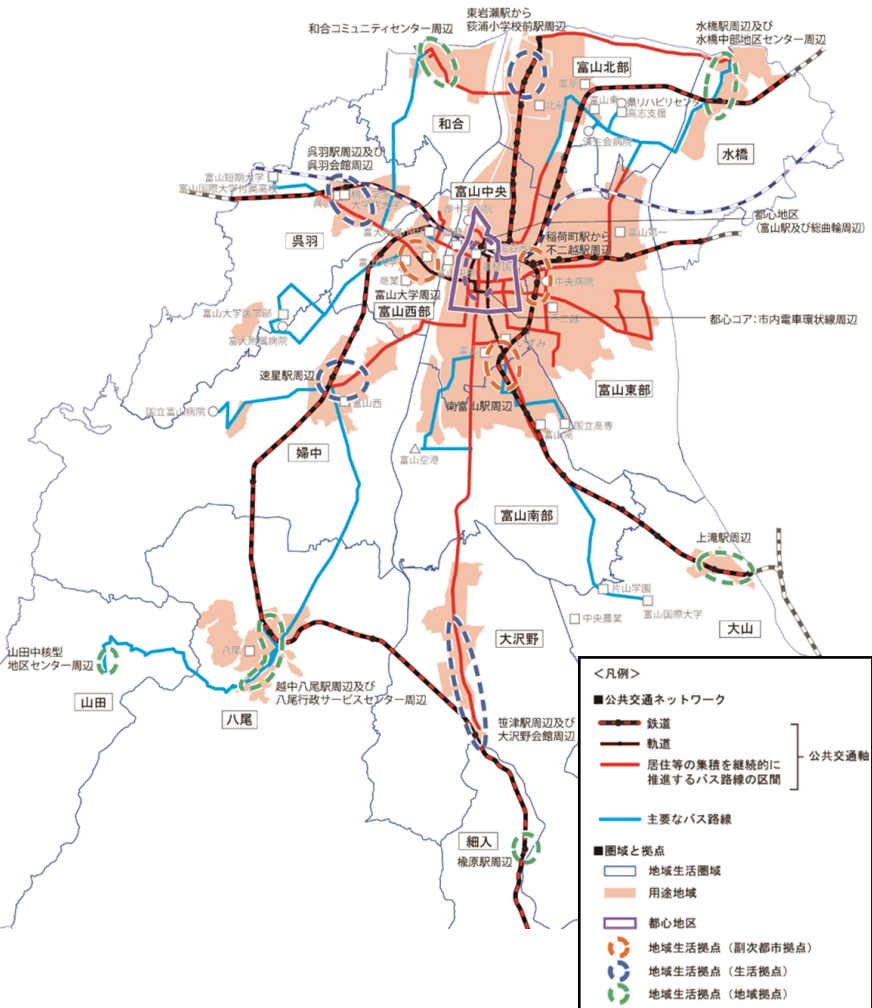
【公共交通が便利な圏域】

都心地区と公共交通軸の鉄軌道駅から概ね500m、バス停から概ね300mの用途地域等が定められた徒歩圏で、都市の諸機能や居住を誘導する圏域

＜地域生活拠点の役割の区別＞



＜公共交通軸と地域生活拠点＞



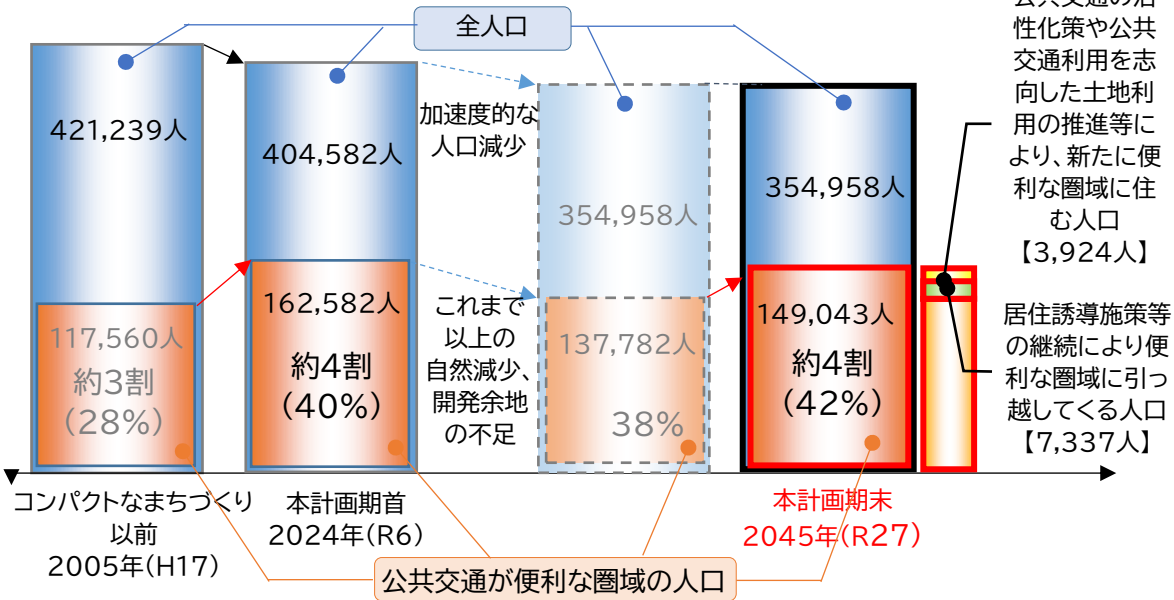
地域名	地域生活拠点の位置
富山中央	都心地区 (富山駅及び総曲輪周辺)
富山北部	東岩瀬駅から萩浦小学校前駅周辺
和合	和合コミュニティセンター周辺
呉羽	呉羽駅周辺及び呉羽会館周辺
富山西部	富山大学周辺
富山南部	南富山駅周辺
富山東部	稲荷町駅から不二越駅周辺
水橋	水橋駅及び水橋中部地区センター周辺
大沢野	笹津駅及び大沢野会館周辺
大山	上滝駅周辺
八尾	越中八尾駅及び八尾行政サービスセンター周辺
婦中	速星駅周辺
山田	山田中核型地区センター周辺
細入	檜原駅周辺

まちの目標

- ①車を使わなくても安心・快適な暮らしを実感できるまち
- ②市民のライフステージ等に応じた多様な住まい方が選択できるまち
- ③地域の個性が発揮された拠点集中型のまち
- ④持続可能で災害に強い、安全・安心のまち
- ⑤豊かな自然を守り育てる、環境に優しいまち

公共交通が便利な圏域に住む市民の割合

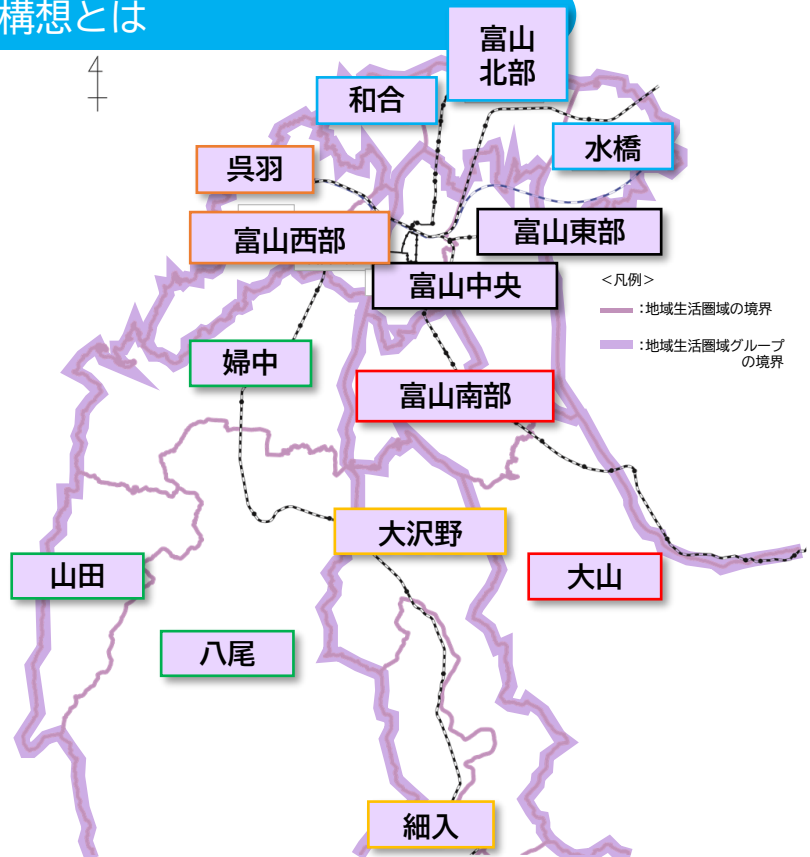
～20年後に約4割以上の維持を目指す



・14の地域生活圏域の現状を踏まえ、全体構想における位置づけ、市民アンケート結果や地域間のつながり(6つの圏域グループ)を踏まえつつ、市民ワークショップで出されたアイデア等を参考としながら、地域のまちづくりの方針を明らかにするもの。

<地域別構想の役割>

- ①各地域のまちづくりの基本的な方針
- ②各地域の都市計画や基盤整備の主な内容

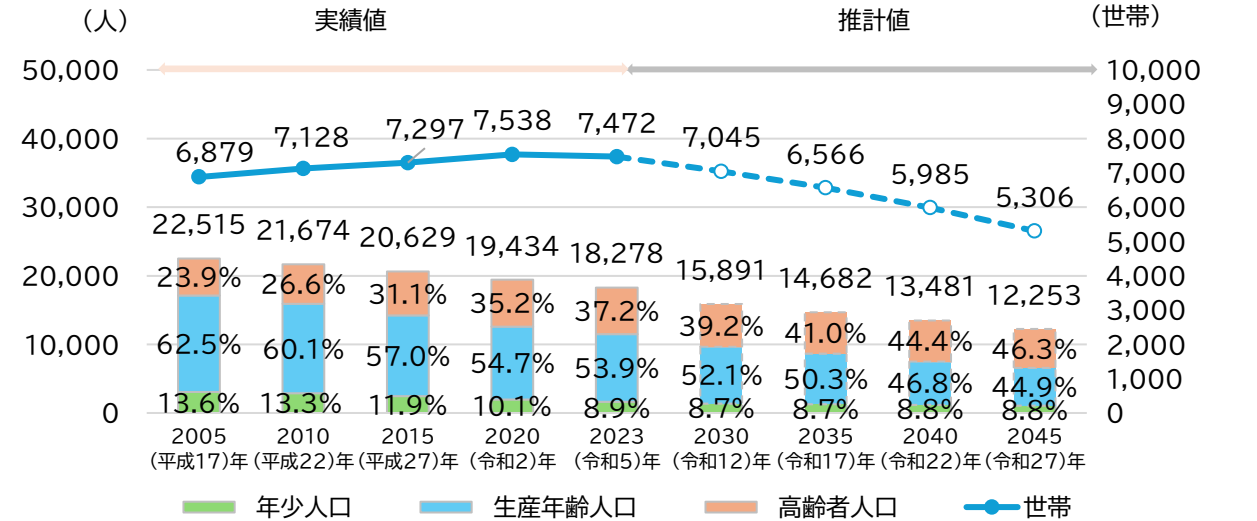


1 地域の現状

JR高山本線越中八尾駅の周辺に市街地が形成され、歴史的な街並み、和紙・酒蔵等の地場産業、越中おわら風の盆等の歴史文化・観光資源がある地域です。市街地や幹線道路沿いにはスーパーや病院などが立地し、大規模工業団地も整備され、中山間地域には豊かな自然環境と温浴施設等があります。

<人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し>

人口や世帯は既に減少しており、2023（令和5）年時点で18,278人、高齢化率は37%と3割を超えています。今後も人口・世帯数ともに減少し、高齢化率も4割を超える見込みです。



<市民ワークショップでの提案>

※住民基本台帳を元に推計

《地域の魅力》	「おわら風の盆や越中八尾曳山祭り」「八尾の街並み景観」「良好な生活環境」「富山八尾中核工業団地」「自然を活かしたスポーツやレジャー施設」「豊かな自然、農村景観（大長谷地区ほか）」
《20年後の地域の将来イメージ》	自然・文化・食を活かせる、共存共栄しつづける八尾（まち）

2 まちづくりの方針

- i) 地域固有の歴史・文化・街並み等を活かした地域拠点の形成
- ・生活に必要な機能が立地するとともに、越中おわら風の盆等の町人文化が息づく歴史や文化、街並み等を活用して、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。
- ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成
- ・JR高山本線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。
- iii) 周囲の自然環境や施設等を活かした自然・レクリエーションの場の形成
- ・周囲の山々や井田川等の自然環境、城ヶ山公園等の施設、JR高山本線東八尾駅周辺の水辺空間等を活かし、市民や来街者が自然環境やレクリエーションに親しめる場を形成します。
- iv) 豊かな自然環境や営農環境の保全
- ・水田等の営農環境、周囲の森林や水源等の自然環境の保全を推進します。
- v) 既存の先端技術産業の集積を活かした産業の保全
- ・富山八尾中核工業団地を核とした、先端技術産業の保全を図ります。
- vi) 安全・安心なまちの形成
- ・洪水や土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

3 主な取組や土地利用の方針

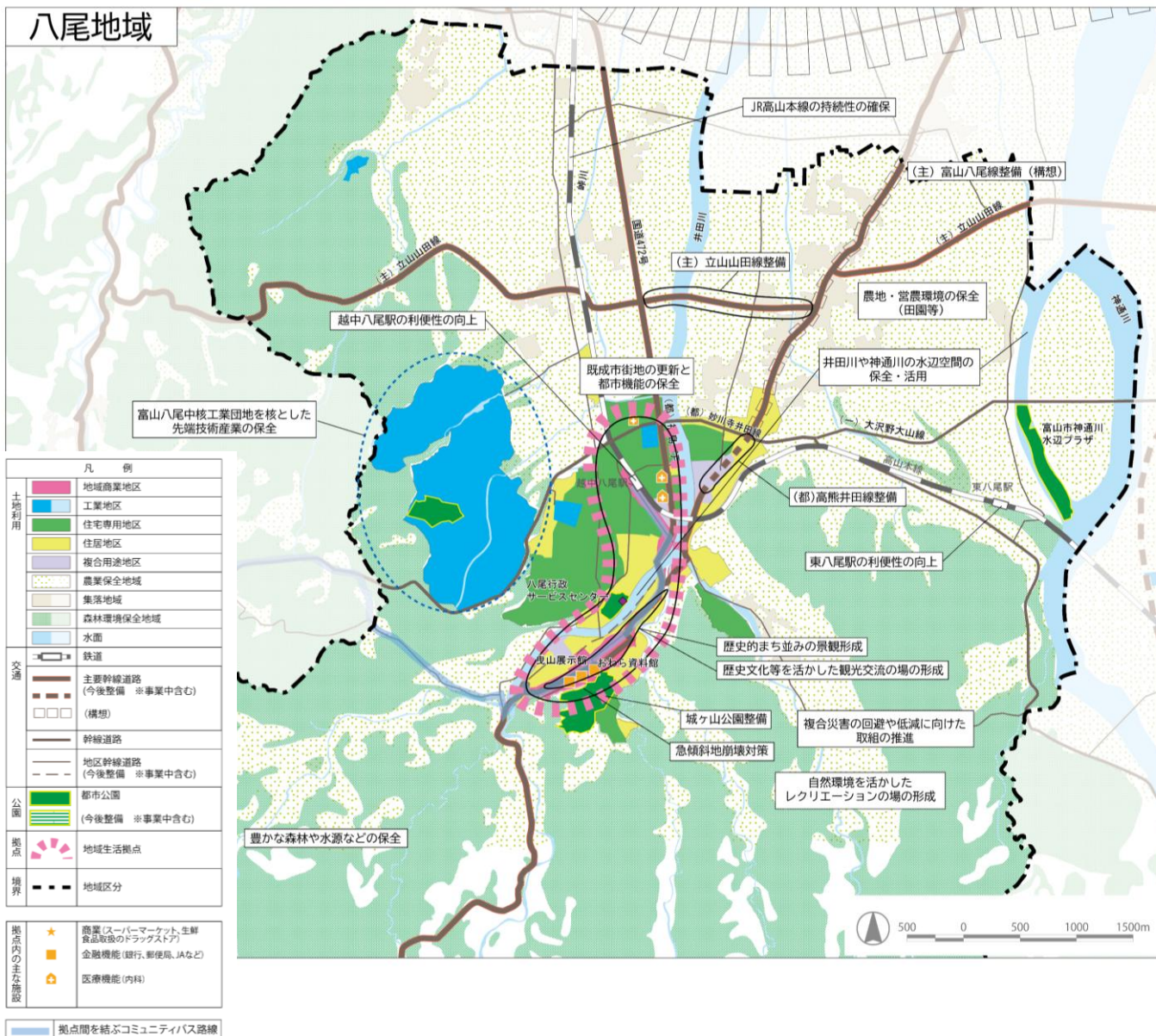
<主な取組>

- 【串】・JR高山本線の持続性の確保
・市民の足としての生活交通等への支援
・鉄道駅の利便性の向上
- 【団子】・生活に必要な機能の維持や既成市街地の更新の推進
・地域固有の歴史文化や街並み等を活用した拠点形成
・洪水や土砂災害等のリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理の推進

<土地利用の方針>

- 【商業系】越中八尾駅周辺などでの小売業などの機能を維持
- 【産業系】富山八尾中核工業団地を核とした、先端技術産業の保全
- 【住宅系】公共交通活性化と併せた環境整備や沿道施設との調和による良好な住環境の形成
- 【農業・自然系】市街地周辺での個別開発の抑制などによる、営農・自然環境の保全

<まちづくり方針図>

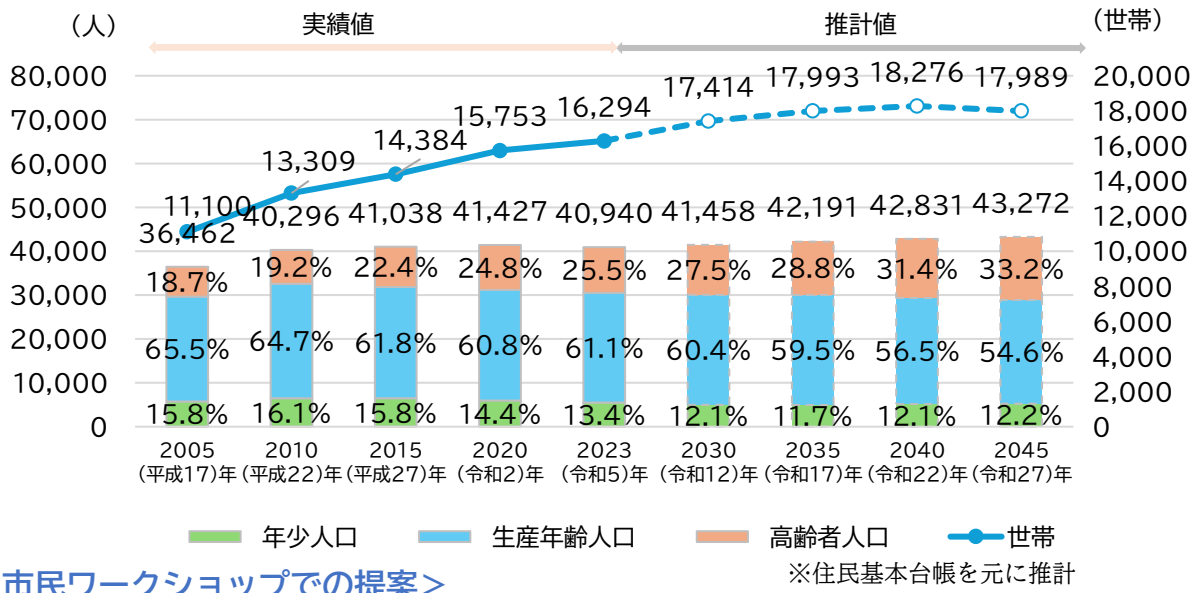


1 地域の現状

神通川左岸の平野部に市街地を形成し、都心地区とのアクセス性も良く、JR高山本線や国道359号などの広域移動がしやすい交通環境を有し、大規模な商業施設や工場等が立地しています。また、地域の西部には、豊かな自然環境や歴史文化が残る里山等があります。

<人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し>

人口は一定数で推移しており、2023（令和5）年時点で40,940人、高齢化率は26％です。今後は、人口・世帯数とも増加するものの高齢化率は3割を超える見込みです。



<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	「ファボーレ周辺の賑わい」「歴史、文化資源の宝庫」「豊かな田園、営農環境」「速星駅周辺の機能集積、住みやすさ」「良好な生活環境やコミュニティの形成」「工場の集積」
《20年後の地域の将来イメージ》	地域の誇りと自信に満ち溢れるまち

2 まちづくりの方針

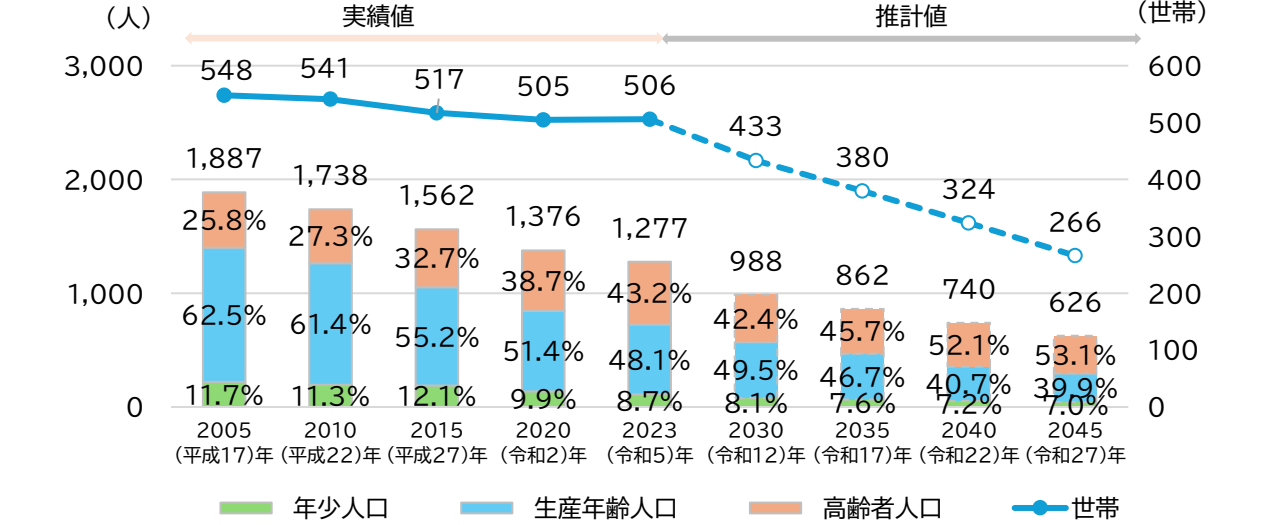
- i) 生活に必要な機能が充実した速星駅周辺での生活拠点の形成
 - ・JR高山本線速星駅周辺において、公共交通の利便性を活かして、商業施設などの生活サービスや文化・交流機能の維持や充実を図ります。
- ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成
 - ・JR高山本線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。
- iii) 里山周辺の資源等を活かした自然・レクリエーションの場の形成
 - ・富山県中央植物園や自然植物園ねいの里などの施設、JR高山本線千里駅周辺に広がる豊かな里山や歴史資源を活かし、市民が自然やレクリエーションに親しめる場を形成します。
- iv) 豊かな自然環境や営農環境の保全
 - ・里山の自然環境、水田や果樹園などの営農環境の保全を推進します。
- v) 広域物流に優位な環境を活かした産業の保全・誘導
 - ・ICや幹線道路等との結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。
- vi) 安全・安心なまちの形成
 - ・洪水等の災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

1 地域の現状

牛岳などの山岳に囲まれた地域であり、スキー場や温浴施設などがあるとともに、豊かな水源を活かした棚田や山地の環境を活かした果物などの栽培が盛んであり、農作物の販売施設等もあります。

<人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し>

人口と世帯数は既に減少しており、2023（令和5）年の人口は1,277人、高齢化率は43%となっています。今後も人口・世帯数ともに減少し、現状の半数程度になる見込みであり、また高齢化率は5割を超える見込みです。



<市民ワークショップでの提案> ※住民基本台帳を元に推計

《地域の魅力》	「豊かな田園、農村環境」「付加価値の高い農作物の栽培」「自然に囲まれた良好な生活環境」「自然を活かしたスポーツ、レジャー施設」「一流の田舎として、移住者が増加」「富山を一望できる眺望景観」
《20年後の地域の将来イメージ》	幸せ日本一！の山田

2 まちづくりの方針

- i) 山岳の自然環境やスポーツ・レクリエーションの場を活用した地域拠点の形成
- ・山田中核型地区センター周辺で生活機能等の維持と、牛岳など山岳の自然環境、スキー場や温浴施設、農作物の販売施設等を活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。
- ii) 生活交通の維持と既存集落での居住環境の形成
- ・生活交通の維持や既存集落の利活用により、良好な居住環境を形成します。
- iii) 主要な道路の適正な保全や整備
- ・JR高山本線越中八尾駅等につながる主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。
- iv) 豊かな森林や水源など自然環境の保全
- ・森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然環境の保全を図ります。
- v) 安全・安心なまちの形成
- ・土砂災害等のリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

3 主な取組や土地利用の方針

<主な取組>

- 【串】・市民の足としての生活交通等への支援
- 【団子】・既存集落の利活用の促進
 - ・豊かな自然や歴史文化に触れ合える施設等を活用した拠点形成
 - ・土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理の推進

<土地利用の方針>

【農業・自然系】中山間地域の営農環境や森林などの豊かな自然環境の保全

<まちづくり方針図>

